

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和 58 年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月 28 日）に定期ガイド等を実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018 年度実績が 815 人であったため、2020 年度目標を 830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度 1% ずつ参加者を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">年度</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">2021 実績</th> <th colspan="3" style="width: 70%;">2022</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th style="width: 15%;">実績</th> <th style="width: 15%;">進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">91 人</td> <td style="text-align: center;">847 人</td> <td style="text-align: center;">850 人</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	91 人	847 人	850 人	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	91 人	847 人	850 人	100%													
○2022 年度の実績等 「ふたばの日」は新型コロナウイルス感染症対策の自己申告チェックリストを提出してもらう等の対応をした上で実施し、参加者は 384 人であった。 また、事前予約制の「いつでもガイド」は、31 回実施し、参加者は 409 人、8 月 5 日の「夏の夜、祈りと平和の夕べ」で行った夕べのガイドツアーの参加者は 57 人であった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th style="width: 80%;">取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">855 人</td> <td>「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	855 人	「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。									
目標値	取組方針等																
855 人	「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。																
○取組上の課題等 より多くの外国人旅行者や幅広い世代に参加してもらうため、外国人宿泊者等が多く見込まれる施設など、散策マップ（日本語版・英語版）の配布先を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成 24 年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年 8 月 5 日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 1,900 人であったため、2020 年度目標を 2,000 人とし、毎年度 50 人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">— 【中止】</td> <td style="text-align: center;">2,100 人</td> <td style="text-align: center;">1,324 人</td> <td style="text-align: center;">63%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	— 【中止】	2,100 人	1,324 人	63%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	— 【中止】	2,100 人	1,324 人	63%													
○2022 年度の取組内容等 8 月 5 日の「夏の夜、祈りと平和の夕べ」は、新型コロナウイルス感染症の対策として、飲食を伴うイベントを中止し、ろうそくを一部 LED ライトに変更して、ボランティア人員を削減するなどの対策をとった上で 3 年ぶりに実施した。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,150 人</td> <td>案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,150 人	案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。									
目標値	取組方針等																
2,150 人	案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。																
○取組上の課題等 より多くの外国人旅行者や幅広い世代に参加してもらうため、外国人宿泊者等が多く見込まれる施設など、案内チラシ（日本語版、英語版）の配布先を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！	担当課	地域起こし推進課				
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進								
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。								
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。								
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。					
○目標値と進捗状況								
年度	2021 実績	2022						
		目標値	実績	進捗率				
年度毎の 目標値	26人	220人	152人	69%				
○2022年度の取組内容等								
時期・ 内容等	4月	5月	6月	8月	10月	11月		3月
	春の 自然観察会	いきいき大学 (牛田公民館 学習支援)	モリアオガエルの 自然観察会	水辺のふれあい 自然観察会	シリブカガシの ワークショップ	秋の 自然観察会	牛田山 ぐるっと ハイキング	講演会
参加者数	29人	14人	36人	中止	中止	25人	24人	24人
「東区緑のボランティアの会」と協議し、8月の「水辺のふれあい自然観察会」及び10月の「シリブカガシのワークショップ」の中止を決定した。その他のイベントは、感染症対策を行った上で実施した。 また、新たな試みとして、外部講師を招いて、講演会（広島市の昆虫について）を3月に開催した。								
○2023年度の目標値と取組方針等								
目標値	取組方針等							
230人	例年行ってきたイベントの開催内容の見直しや、新たなイベントの開催について検討する。							
○取組上の課題等 各イベントとも参加者が定員に達していないことから、既存イベントの内容の見直しや、被爆樹木の観察会など新たなイベントの企画を行うことでイベントの魅力を上させるとともに、様々な広報ツールを活用して広報することで参加者の増加につなげる。								
○備考								

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成25年度から毎年11月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 牛田山ハイキング参加者数			○目標値の考え方 2019年度は、悪天候のため参加者数が123人ととどまったため、2018年度実績である177人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大200人を目標値として設定する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	151人	188人	132人	70%
○2022年度の実績等 2021年度に引き続き、少人数グループの編成、出発時間の分散などを盛り込んだ「グループ登山イベント」と、一定期間中に自由に参加する「いつでも登山ウィーク」の2部構成で実施し、感染症への対策を講じつつ、市民が柔軟に参加できるような形で実施した。 その結果、11月27日の「グループ登山イベント」では67人、その後12月11日まで実施した「いつでも登山ウィーク」では65人の参加があった。				
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
192人	より多くの人に参加してもらえるように、メインの広報ツールであるリーフレットのデザインを工夫する。			
○取組上の課題等 ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、山登りの未経験者・初心者でも関心を持ってもらいやすいリーフレットのデザインとし、様々な広報ツールを活用して広報する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 ハイキングイベントの新規実施件数			○目標値の考え方 2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1件/年	1件/年	1件/年	100%
○2022年度の取組内容等				
主催団体	対象場所	内容		
二葉公民館	尾長山・大内越山	昨年度に実施した「いつでも登山イベント」の対象を拡大し、大内越山でも実施した。（3月11日～31日、参加者10人）		
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
継続実施	実施主体である各公民館等と協議しながら、尾長山・大内越山・高尾山でのイベント実施支援を継続していく。			
○取組上の課題等 各公民館等と連携して、広報等を行うことで参加者の増加を図り、各ハイキングイベントの実施を引き続き支援していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具 体的 な 取 組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進																	
事業目的・内容 平成 11 年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。																	
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。																	
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2件 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>1件 /年</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2件 /年	4件以上 /年	1件 /年	25%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	2件 /年	4件以上 /年	1件 /年	25%													
○2022 年度の取組内容等 1次募集では継続2件のみで、新規申請は0件だった。2次募集に向けて、「市民と市政」での広報、各地区社会福祉協議会に募集要項を送付し周知等を行った結果、「かかし祭り実行委員会」からの申請があり、今年度実績は1件となった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件以上 /年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	4件以上 /年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
4件以上 /年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul>																
○取組上の課題等 制度が十分に周知されていないことから、地区社会福祉協議会など各種団体へチラシや案内を送付するとともに、「市民と市政」や公民館だよりで紹介記事を掲載するなど、新規申請の掘り起こしを行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的 な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>2回/年</td> <td>2回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	2回/年	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	2回/年	100%													
○2022 年度の実績内容等 <比治山大学との連携> 保健センター栄養士が市の健康づくりに関する講義を実施し、学生がテーマ別に4種類（減塩、野菜、朝食、栄養バランス）の啓発動画を作成した。作成した動画は、10月29日（土）・30日（日）に開催された大学祭で約160名の来所者を対象に放映し、学生が健康づくりの重要性について説明した。啓発動画は東区役所の乳幼児健診会場でも配信し、子育て世代への啓発にも活用している。 <広島女学院大学との連携> 11月13日（日）に開催された大学祭で、大学・企業・行政（県・市）が連携した健康展を開催した。美肌と食生活の関連・野菜や朝食の摂取等に関する内容の他、エイズのパネル展示やアルコール体質チェックも取り入れた「食育&健康増進コーナー」を設置し、約250名の参加があった。 その他、大学と連携した取組として、11月8日（火）に子宮頸がん予防講演会を開催した（参加者284名）。また、12月1日（木）のエイズ啓発街頭キャンペーンに学生ボランティア2名の参加があった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回/年</td> <td>大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2回/年	大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。									
目標値	取組方針等																
2回/年	大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。																
○取組上の課題等 健康に関する最近の話題を取り入れながら、保健センターの事業方針と大学側の希望を早期に確認し、大学祭への参加や講演会の開催等の調整を行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的 な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやりの心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催 件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%													
○2022 年度の取組内容等 常設オープンスペースへの大学生の参加について、11月30日に比治山大学から学生4名が参加し、パネルシアターや遊びを実施した。1月25日にも同様に同大学から学生の参加を予定していたが、大雪のため、中止となった。 また、生命の大切さについて理解を深めるとともに思いやりの心を育むことを目的に、出産・子育てに関する助産師の講演の実施を提案し、9月5日広島女学院大学管理栄養学科3年生66名に対し実施した。学生が、将来に向けて、出産や育児について深く考えるきっかけにもなった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回/年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul>																
○取組上の課題等 大学と連絡・調整をとりながら、大学生が常設オープンスペースで乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやりの心を育むことができるよう、イベントを計画し実施する。																	
○備考																	



## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2022		
年度	2021 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	— 【中止】	120 人	40 人	33%
○2022 年度の取組内容等				
実施日	応援状況			
6 月	リーグ開幕に向け東区役所を訪問した中山監督と選手を激励 (6/8)			
	区役所ロビー展第 1 弾 (6/20~7/15)			
7 月	リーグ開幕戦にあわせて Facebook で応援を呼び掛けた。			
9 月	区報ひがし 10 月 1 日号でチーム・試合情報を紹介			
1 月	区役所ロビー展第 2 弾 (1/16~2/10)、応援メッセージ募集 (1/16~2/11)			
2 月	東区応援隊による試合応援を実施した。また、集まった応援メッセージを試合で掲げ、チームへ届けた。(2/11)			
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
130 人	イズミメイプルレッズや東区スポーツセンター、学区体育協会との連携を図りながら、東区応援隊の結成について協議し、イズミメイプルレッズを応援する。			
○取組上の課題等 応援型の取組内容のみでは参加者の増加が見込めないため、イズミメイプルレッズや東区スポーツセンターと協議し、シュート体験会などの参加型のイベントを同日開催するなど、参加者の増加につながる取組を検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実																	
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。																	
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。																	
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数			○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回	3回	3回	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回	3回	3回	100%													
○2022年度の取組内容等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">イベント名</th> <th style="width: 20%;">実施時期</th> <th style="width: 40%;">状況等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジョイ！スポーツ祭（スポーツの日）</td> <td>10月10日</td> <td>施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施</td> </tr> <tr> <td>ニュースポーツ交流会</td> <td>12月19日</td> <td>種目をラダーゲッターに変更し実施</td> </tr> <tr> <td>ひがしくスポーツセンターまつり</td> <td>2月26日</td> <td>キッズ体力測定やトランポリン等の室内スポーツ体験を実施</td> </tr> </tbody> </table>					イベント名	実施時期	状況等	エンジョイ！スポーツ祭（スポーツの日）	10月10日	施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施	ニュースポーツ交流会	12月19日	種目をラダーゲッターに変更し実施	ひがしくスポーツセンターまつり	2月26日	キッズ体力測定やトランポリン等の室内スポーツ体験を実施	
イベント名	実施時期	状況等															
エンジョイ！スポーツ祭（スポーツの日）	10月10日	施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施															
ニュースポーツ交流会	12月19日	種目をラダーゲッターに変更し実施															
ひがしくスポーツセンターまつり	2月26日	キッズ体力測定やトランポリン等の室内スポーツ体験を実施															
○2023年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3回</td> <td>東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントの広報活動を支援していく。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	3回	東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントの広報活動を支援していく。									
目標値	取組方針等																
3回	東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントの広報活動を支援していく。																
○取組上の課題等 より多くのイベント参加者を呼び込むため、東区スポーツセンターと連携し、様々な広報ツールを活用して広報する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上																	
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成 16 年 8 月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。																	
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。																	
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018 年度までの過去 3 年間で 1 回の来場者が 103 人から 80 人に減少しているため、2020 年度の目標を 4,000 人（1 回 80 人×年 50 週）と設定し、毎年 50 人ずつ（毎回 1 人ずつ）来場者を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>365 人</td> <td>4,100 人</td> <td>3,316 人</td> <td>81%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	365 人	4,100 人	3,316 人	81%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	365 人	4,100 人	3,316 人	81%													
○2022 年度の実績内容等 4 月 7 日から木曜であい市を再開し、計 46 回開催した。前年度は新型コロナウイルス感染症のため、6 回しか開催できず、再開直後は来客が少なかった。このため、積極的に広報活動を行い、認知度を高めるよう努めた（昼時間に東区役所で館内放送、区役所 1 階にサンプル品の展示、スポットラジオ（7 月 1 日から 7 月 31 日まで）、広報紙「市民と市政」への掲載、Facebook への投稿）。 また、「年末くじ」や開催 800 回記念として「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、通常の開催以外に安全・安心フェスタや東区スポーツセンターのスケート感謝祭に出店した。																	
○2023 年度の目標値と取組方法等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,150 人</td> <td>地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	4,150 人	地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。									
目標値	取組方針等																
4,150 人	地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。																
○取組上の課題等 「木曜であい市」の周知が十分でないことから、引き続き継続開催し、固定ファンを増やすとともに、様々な広報ツールを活用して事業の認知度を高める。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承				
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会（以下、「歴史」）（牛田小学校、尾長小学校）、東区緑のボランティアの会（以下、「緑ボラ」）（尾長小学校）、東区ふれあいもてなし市協議会（以下、「農家」）（矢賀小学校）の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。				
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。				
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数			○目標値の考え方 2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることとし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の目標値	5校/年	5校/年	6校/年	120%
○2022年度の取組内容等				
団体・学習支援実施校		学習支援内容		実施時期
農家	①矢賀小学校（2年）	「矢賀うり」植付指導		6月
		「矢賀ちしゃ」植付指導		11月
	②あけぼの保育園	「矢賀うり」植付指導		6月
	③わかくさ保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導		12月
歴史	④尾長小学校（6年）	ウォークラリー（七社寺）でのガイド		7月
	⑤牛田小学校（3年）	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド		9月
	⑥広島女学院大学	城下町広島の歴史講座		11月
七福神コースのガイド		11月		
緑ボラ	尾長小学校（5年）	尾長山・二葉山でのガイド		中止
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6校/年	新たな学習支援校を増やすため、学校への情報提供を早期に行う。			
○取組上の課題等 学校側のスケジュール確保が必要であることから、早期に、小学校長会での周知や情報提供を行う。				
○備考				